

府中北市民病院 新改革プラン

地方独立行政法人府中市病院機構【概要版】

第1 府中市地域医療再生計画の位置づけ

地域連携機能を強化し、地域の診療所や訪問看護ステーションと連携して、北部地域の診療圏の医療ニーズに対応した医療機能を確保。

第2 府中市から求められている中期目標

自律的な業務運営によって、診療体制や人員配置を機動的かつ弾力的に行い、医療需要や医療制度の変化に的確に対応するとともに、民間的経営手法を最大限に生かした効率的な病院運営の実現。

第3 評価委員会による平成24年度業務実績評価

特に改善を求める事項として、「市からの繰入に過度に頼らない、強靱な経営基盤の構築がある。中でも、府中北市民病院の経営状況は厳しく、財務内容の抜本的改善への取り組みが望まれる。」

第4 府中北市民病院の近未来図

1 目指すべき病院像

在宅医療を推進する「在宅療養支援病院」のような機能を備え、また、市民病院として初期救急にも対応できる病院事業。

2 近隣の病院及び診療所との医療連携

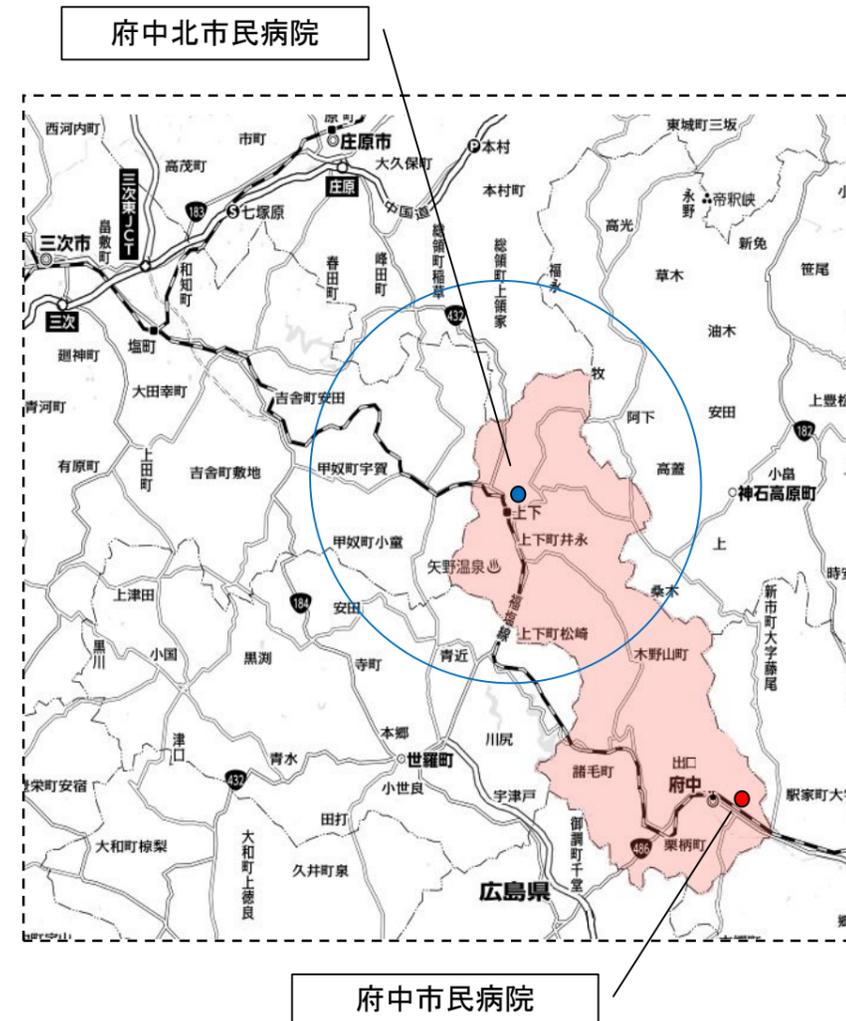
府中市民病院との連携強化し、2病院の連携によって地域に必要な医療を提供。さらに、北部地域の近隣病院や診療所との連携を図り、地域全体としての医療提供体制を担う病院。

3 上下地域における地域包括ケア体制

府中地区医師会の在宅医療推進拠点整備事業に積極的に協力し、医師会を中心とした上下地域における地域包括ケア体制の構築を推進。

4 支える医療の実現

健康を支える予防医療、地域住民の社会生活を支える医療、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い支える医療、病気を持っていることを前提としてその人らしく生きることができるよう支える医療、これらを実現するための機能を有する病院。



府中市病院機構としての目標

- 府中北市民病院の改革は、中期目標期間の残り2年間で実施、完了する。
(法人の中期目標期間はH24～H27年度)
- 府中市民病院の建て替えもH27年度中に完了する予定であり、2病院の連携強化の具体化を推進する。

新改革プラン

1 病床の効率的運用

2病棟→1病棟

多様な機能を併せ持つ形の地域密着型の病床として、1病棟の「地域支援病棟」（仮称）

2 診療科

現状の9診療科、透析室（11床）

3 在宅医療

府中市病院機構に地域医療推進本部（仮称）を新設
本部長は医師

4 新規事業

24時間対応型訪問介護・看護事業所「ささえ」の開設
医師会訪問看護ステーション、社会福祉協議会と連携

5 広島県北部地域移動診療車の運行

無医地区等への巡回診療事業に、府中北市民病院も参加、へき地医療拠点病院

6 病床転換による病棟利用

医療に住まいと介護が合体するような施設や通所リハビリ等を検討

7 医師の招聘

多様な勤務形態による働きやすい労働条件を整備

8 医療従事者の機能的配置

府中市病院機構として、府中北市民病院の新改革プランの実現にむけて、医療従事者の機能的配置を行う

9 臨床研修施設

地域包括ケアシステムに重点をおいた内容とし、総合診療医を目指す医師の研修施設となるよう努める